

平成 28 年 7 月 10 日 (日) 施行

第 183 回 全経簿記能力検定試験 1 級 会計 解説

第 1 問

1. 企業会計原則 第一 一般原則 六
2. 企業会計原則注解 [注 4]

第 2 問

1. 保証債務額は $¥500,000 \times 1.2\% = ¥6,000$
保証債務費用勘定が勘定科目群にないため、手形売却損勘定に含めて処理する。
手形売却損は割引料 + 保証債務費用 = $¥15,000 + ¥6,000 = ¥21,000$
2. 焼失時の事務所の帳簿価額は $¥13,000,000 - ¥5,200,000 = ¥7,800,000$
これに対し、保険金の支払は $¥8,500,000$ 帳簿価額 < 保険金 → 保険差益 $¥700,000$
3. 試送時に以下の仕訳をしている。(@ $¥3,500,000 \times 2$ 台)

(借) 試用品	7,000,000	(貸) 仕入	7,000,000
---------	-----------	--------	-----------

- ①このうち、福島研究所の 1 台は買取の連絡があったので、

(借) 売掛金	5,400,000	(貸) 試用品売上	5,400,000
仕入	3,500,000	試用品	3,500,000

- ②仙台研究所の 1 台は返送されてきたので

(借) 仕入	3,500,000	(貸) 試用品	3,500,000
--------	-----------	---------	-----------

以上①②を合わせる。

4. 欠損額に対して、資本準備金の取崩額が上回っているため、欠損てん補分との差額 $¥700,000$ は資本準備金減少差益勘定を用いる。
5. 投資有価証券の取得価額 $¥3,875,000 + ¥23,000 = ¥3,898,000$
購入日 7 月 1 日直前の利払日は 3 月末なので、ここから経過した 3 ヶ月分の利息を負担する。
 $¥4,000,000 \times 1.25\% \times (3 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = ¥12,500$
6. 売掛金は決算日の為替レート ($\$1 = ¥109$) で換算しているので、
 $\$18,000 \times ¥109 = ¥1,962,000$
振り込みは本日のレート ($\$1 = ¥112$) で、 $\$18,000 \times ¥112 = ¥2,016,000$
為替差益 $¥2,016,000 - ¥1,962,000 = ¥54,000$

第 3 問

当期の売上利益率は 30% であるから、売上原価は

$$¥126,800,000 \times (1 - 30\%) = ¥88,760,000$$

割賦売上利益控除前売上総利益は

$$¥126,800,000 - ¥88,760,000 = ¥38,040,000$$

割賦売掛金			
当期首残高	¥12,540,000	¥9,340,000	当期回収分①
		¥3,200,000	期末残高(前期発生分)
当期発生額 (売上高)	¥126,800,000	¥111,600,000	当期回収分
		¥15,200,000	期末残高(当期発生分)

(2)(3)より期末割賦売掛金残高(当期発生分)は

$$¥18,400,000 - ¥3,200,000 = ¥15,200,000$$

繰延割賦売上利益戻入は、当期に回収した割賦売掛金(当期回収分①)に含まれている利益で、

$$¥9,340,000 \times 35\% = ¥3,269,000$$

割賦売上利益控除は、当期に発生した割賦売掛金のうちの期末未回収高¥15,200,000に含まれている利益なので、

$$¥15,200,000 \times 30\% = ¥4,560,000$$

第4問

問題文より、合併期日における阿倍野会社の諸資産の時価は203,400千円、諸負債は156,000千円であり、合併交付金1,400千円が支払われている。

また、増加資本の額は

$$5 \text{ 千円} \times 9,600 \text{ 株} = 48,000 \text{ 千円}$$

である。また、このうち2分の1を資本金とし、他を資本準備金とするので、合併仕訳は以下のとおりとなる。

(借) 諸 資 産	203,400	(貸) 諸 負 債	156,000
		現金(諸資産)	1,400
		資 本 金	24,000
の れ ん	2,000	資 本 準 備 金	24,000

第5問

〔資料2〕 検討事項

1. 現金過不足の処理

(借) 現金過不足	300	(貸) 旅費交通費	90
雑損	40	前受金	250

2. 仮払金の内訳

(借) 建設仮勘定	10,000	(貸) 仮払金	30,020
仮払法人税等	4,200		
仮払消費税	14,320		
退職給付費用	1,500		

3. 仮受金の内訳

(借) 仮受金	27,100	(貸) 償却債権取立益	1,000
		仮受消費税	26,100

4. 消費税の処理

(借) 仮受消費税	26,100	(貸) 仮払消費税	14,320
		未払消費税	11,780

5. 仕入割引の処理

(借) 仕入	1,200	(貸) 仕入割引	1,200
--------	-------	----------	-------

仕入割引は仕入勘定から直接控除するのではなく、営業外収益として処理する。

〔資料3〕 決算整理事項

1. 貸倒引当金の設定

受取手形残高は27,000千円、売掛金残高は31,000千円より

$$(27,000 \text{ 千円} + 31,000 \text{ 千円}) \times 1.5\% = 870 \text{ 千円}$$

差額補充法より、貸倒引当金繰入額は870千円－600千円＝270千円

(借) 貸倒引当金繰入	270	(貸) 貸倒引当金	270
-------------	-----	-----------	-----

2. 売買目的有価証券の評価替え

釧路会社株式 (5.4千円－5.2千円) × 1,800株 = 360千円

帯広会社株式 (3.5千円－3.8千円) × 2,100株 = △630千円

(借) 有価証券評価損	270	(貸) 有価証券	270
-------------	-----	----------	-----

3. 期末商品の評価

@8.5千円	商品評価損なし	棚卸減耗費	商品評価損 正味売却価額>取得原価 ⇒ 商品評価損なし 棚卸減耗費 @8.5千円×(1,300個-1,280個)=170千円
@8.9千円	a 商品		
		1,280個	1,300個
@6.6千円	商品評価損	棚卸減耗費	商品評価損 (@6.6千円-@5.1千円)×1,630個=2,445千円 棚卸減耗費 @6.6千円×(1,650個-1,630個)=132千円
@5.1千円	b 商品		
		1,630個	1,650個

帳簿棚卸商品

a 商品	8.5千円×1,300個=11,050千円	} 21,940千円
b 商品	6.6千円×1,650個=10,890千円	
商品評価損	…2,445千円	
棚卸減耗費	…170千円+132千円=302千円	

(借) 仕入	23,800	(貸) 繰越商品	23,800
繰越商品	21,940	仕入	21,940
商品評価損	2,445	繰越商品	2,445
棚卸減耗費	302	繰越商品	302

4. 減価償却

建物(定額法)残存価格ゼロ

$$(28,000千円 - 0円) / 40年 = 700千円$$

備品(定率法)

$$(16,000千円 - 4,000千円) \times 0.25 = 3,000千円$$

(借) 減価償却費	3,700	(貸) 建物減価償却累計額	700
		備品減価償却累計額	3,000

5. 特許権償却

耐用年数8年(96ヶ月)のうち前期末で1年9ヶ月(21ヶ月)償却が終わっている。

残存期間75ヶ月で1,875千円なので

$$\text{当期の特許権償却額は } 1,875千円 \times (12ヶ月 / 75ヶ月) = 300千円$$

6. 退職給付の積立

(借) 退職給付費用	1,000	(貸) 退職給付引当金	1,000
------------	-------	-------------	-------

[資料2] 2より、当期に退職した従業員への退職一時金が1,500千円なので

$$\text{【問2】の退職給付引当金は } 8,400千円 + 1,000千円 - 1,500千円 = 7,900千円$$

7. 支払利息

1年の利息は $7,000 \text{ 千円} \times 2.0\% = 140 \text{ 千円}$

利払日(9/30)からの経過月数3ヶ月分の未払利息を計上する。

$140 \text{ 千円} \times (3 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = 35 \text{ 千円}$

(借) 支払利息	35	(貸) 未払利息	35
----------	----	----------	----

8. 賞与引当金

支給見積額1,860千円(6ヶ月)のうち、当期に該当するのは1ヶ月分である。

$1,860 \text{ 千円} \times (1 \text{ ヶ月} / 6 \text{ ヶ月}) = 310 \text{ 千円}$

(借) 賞与引当金繰入	310	(貸) 賞与引当金	310
-------------	-----	-----------	-----

【問2】の賞与引当金の額は310千円

9. 費用の繰延べ

保険料のうち火災保険料 $1,200 \text{ 千円} / 60 \text{ ヶ月} = 20 \text{ 千円} / \text{月}$

このうち当期分は6ヶ月分なので残り54ヶ月分 $20 \text{ 千円} \times 54 \text{ ヶ月} = 1,080 \text{ 千円}$ を繰り延べる。

なお、1年を超える先に関するものは長期前払費用として投資その他の資産に計上する。

(借) 前払費用	240	(貸) 保険料	1,080
長期前払費用	840		

10. 法人税の計上

仮払法人税等が4,200千円あるので

(借) 法人税等	9,800	(貸) 未払法人税等	4,200
		仮払法人税等	5,600